

【単元目標】

知識及技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
(1) イ 姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。	A (1) ウ 伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。	経験したことから話題を決め、伝える事柄を選んでいる。

【既習内容】

- ・夏休みのできごとについて話す。
- ・朝の会のスピーチを工夫する。

【目指す子ども像】

主体的に学ぶ姿	・自分で授業の準備ができる
対話的に学ぶ姿	・他者を意識して話したり聞いたりすることができる。
深く学ぶ姿	・体験的な学習を通し、言葉や表現方法を増やすことができる。

【児童の実態】

- ・個人差が大きい。自分のしたことをひたすら話し続ける児童や、1文で終わる児童、話題を思い出すのに苦労する児童と様々である。

【学習計画】

段階	学習課題	主発問と主な学習活動	子ども像に向けた授業作りの工夫 と 目指す子どもの姿	評価基準
見通し	スピーチ名人になろう。	①伝えることを決めよう。	【主体的な学び】 自分で伝えたいことが選べる。 - ゲームをしたことにしよう - 出かけたことにしよう - 昨日食べたものにしよう	・経験したことから話題を決めている。 【主】ワークシート・観察
課題解決		②話すことを書こう。	【主体的な学び】 自分で伝えたいことが選べる。 - どんな気持ちだったかな - だれとしたかを書こう - 全項目書きたいな *イラスト付きのワークシートを用意する。(気持ちなど)	・経験を思い出し、伝える事柄を選んでいる。【主】ワークシート・観察
		③みんなの前で発表しよう。	【対話的な学び】 他者を意識して話したり聞いたりすることができる。 - 聞こえる声で話そう - 相手の目を見よう - 速さに気をつけよう	・姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。 【技】観察

ふりかえり		④感想カードを書こう。	【深い学び】 体験的な学習を通し、言葉や表現方法を増やすことができる。 気持ちが分かってよかった ゆっくりで分かりやすかった	・伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。【思】観察 ・友だちの良いところに気づくことができる。【主】ワークシート・観察
-------	--	-------------	--	--